

島根は技と資源の宝庫 *はじめに

島根を支えた豊かな資源

古代から島根県は黒曜石・めう・石・砂鉄・銀鉱石など、たくさんの地下資源を産出してきました。いずれも全国に誇る貴重な資源です。それらの資源は古代の匠たちの手を経て、すばらしい製品に変わっていき、日本全国で大切にされました。また、銀のように世界に広がっていったものもあります。その地下資源のすばらしさと流通の様子を紹介することが本書のねらいの一つです。

すばらしい製品を生み出した匠たち

古代の匠たち(資源を製品にする技術者)の手によって、黒曜石は石器に、めうは玉に、石は石棺などに、砂鉄は鉄になっていきました。中世になってからは、銀鉱石を銀に変える技術も開発されました。それぞれの技は一朝一夕に完成されたものではなく、長い間の苦労と工夫によって研がれていったものです。その技についてはまだ解明されていない部分も多いのですが、本書ではこれらの技を「割る」「黒曜石」「磨く」「玉」「切る」「石」「溶かす」「鉄」「掘る」「銀」という言葉で表現し、紹介することにしました。

今も息づく古代の技

古代から匠たちが活躍した跡は、今でも県内各地で見ることが出来ます。それらは遺跡として保存されたり、資料館に展示されたりしています。そこで、実際に行って直接目で確かめることが出来るよう、本書ではなるべく多くの資料館を紹介するよう心がけました。古代の島根の匠たちの技には、すでに過去のものとなってしまったものばかりではなく、現在も伝統工芸として受け継がれているものもあります。これを機会に島根の技術を再発見してほしいと思います。



匠の手から 生み出された宝もの

目次

島根は技と資源の宝庫	2
匠の手から生み出された宝もの	3
第一章 「割る 黒曜石」	4
フロローグ 魔法の黒い石	4
古代最強のナイフ・黒曜石	6
古代の隠岐は黒曜石の宝庫	8
海を渡った黒曜石	10
第二章 「磨く 玉」	12
フロローグ 玉の織りなす原色の世界	12
玉作りのメッカ・出雲国	14
古代の玉作りに挑戦!	16
玉の原石はどんな石?	18
第三章 「切る 石」	20
フロローグ 石の芸術	20
石切場を発掘する	22
出雲のハイテク・石棺式石室	24
古代の匠に挑む	26
第四章 「溶かす 鉄」	28
フロローグ 伝統の鉄作り・たたら	28
現代に生きる高度な技	30
時代とともに歩む鉄 たたら製鉄	32
たたらに残した足跡を訪ねる	34
第五章 「掘る 銀」	36
フロローグ 時を越える銀の魅力	36
日本有数の鉱山遺跡「石見銀山」	38
銀ができるまで	40
山中に残るも一つ一つの町並み	42
銀山に残した町並みを歩く	44
古代の匠たちに拍手を	46